

みんなの自治講座 「もっと知りたいコロナのはなし」

大塚愛県議といっしょに、大槻剛巳さん（川崎医科大学衛生学教授、内科医）を囲んで、医学的な視点から、新型コロナについて話し合う時間をもちました（2020.7.19）。

◆会場&オンラインで

新型コロナについては、日々、状況が変わるなかで、例えば、PCR検査にあたっての偽陽性・偽陰性の理解など、考えるにあたっての基礎的なこと、今の段階で共有できることを、大槻さんはわかりやすくお伝えくださいました。このように、市民・為政者・学者などで、まず正確な情報・リスクを共有する。そして、リスクコミュニケーションを通して合意形成をすることの大切さを話されました。



◆「上を向いて歩こう」を手話と心で大合唱

大槻さんは音楽家でもあり、自作の「生命よ美しくあれ」を披露されました。そして、大塚さんのリードで、「上を向いて歩こう」をみんなで手話で大合唱。会場は温かな空気に包まれました。



— こんなスポット / 造山古墳ビジターセンター —

4月にオープンしたボランティアガイドの活動拠点です。全国第4位の前方後円墳「造山古墳」、その古墳を構成文化財の一つとする日本遺産「『桃太郎伝説』の生まれたまちおかやま」などの展示があります。6月24日によく訪問し、造山古墳も案内していただきました。開館時間は10～15時、月曜休館。岡山市観光振興課（086-803-1332）



編集後記 ★「岡山ホームレス支援きずな」の炊き出しに時々参加をしています。新型コロナ禍ではお弁当対応です。カレーライス、麻婆丼、ジャークチキンなど。炊き出しにいくと、私たちの社会のあり様が見えます。ここは、岡山市のセーフティネットです。感謝。



のぞみ日誌から

県政・市政オンラインおはなし会（6.6）

大塚愛県議と行いました。新型コロナ対応の初チャレンジでしたが、遠方から、また家から外出しにくい方など、参加者の広がりを感じました。私たちの間には、アクリル板があります。



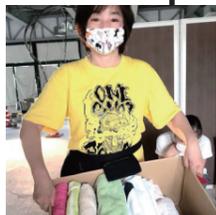
「岡山空襲の日」にあたって（6.30）

岡山市主催の「岡山戦災の記録と写真展～戦後75年 資料と記録の保存と継承～」、市民グループ主催の「岡山市民平和祭 岡山空襲・戦争遺跡写真展」に行きました。二度と戦争を行わないために、子どもたちに伝えていく工夫が必要です。



集中豪雨の被災地にまず古タオルを（7.6）

「災害支援ネットワークおかやま」の呼びかけです。私はランチ北長瀬に古タオルの仕分けにいきました。古タオルは、泥出しや、すぐ泥だらけになる避難所の足拭きなどに使われます。



研究会「児童虐待対応とアドボカシー」（7.15）

「おかやま児童虐待防止事例研究会」主催で、副題は、「一時保護中の子どもの意見表明権」です。子どもを「保護の客体」から「権利の主体者」へ。その取り組みとして、岡山県・岡山市は、一時保護所に入所している子どもからの第三者（現在は弁護士）による意見聴取を始めています。さらにステップアップしていくことを期待します。

女性議員の皆さんと新市庁舎整備への提案（7.16）

岡山市役所本庁舎は、老朽化や耐震性能アップのために、建替を予定しています。女性議員の皆さんといっしょに、女性・子ども視点から担当課と意見交換をしました。子育て総合窓口、キッズスペース、プライバシー保護のための相談室設置等です。100年先を見据えてよいものにと。

岡山市議会議員

会派：市民ネット

No.53

2020年6月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2020年7月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-244-7721 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
Email:hopequal@po7.oninet.ne.jp https://blog.goo.ne.jp/niji_oni



だれもひとりではない ～コロナ禍。東京集中から豊かな地域づくりへ～

* 7月集中豪雨に心を寄せる*

7月に熊本県を中心に九州や中部地方などを集中豪雨が襲いました。2年前の西日本豪雨が思いだされ、心がザワザワと落ち着きません。被災された皆さまには心からのお見舞いを申し上げます。

新型コロナ禍での避難生活や復旧活動となり、さらに多くの困難が伴います。西日本豪雨のときに築かれた岡山の災害支援ネットワークは、現地と連携し、必要な古タオルをまず集めて届けました。できることを岡山からしていきたいと思います。

* * *

新型コロナ禍では、ステイホームということで、多くの皆さんが、協力をしてきました。子どもたちも、3月から5月にかけて、長期の学校休業となりました。今も、自主的に学校を休んでいる子どもたちもいます（2020.7現在）

* 地域でつながるやさしい街を*

学校が再開し、子どもたちの体力の衰え、学習の遅れの心配や体験不足、ストレスによる



西日本豪雨のときに水没をした畑に、復興への願いをこめてヒマワリを植えたそうです。素晴らしいです。（2020.7.23、岡山市北区牟佐）

家庭内関係の悪化（DVや児童虐待等）、経済的な困難など、見えにくい課題が指摘されています。

学校現場でのとりくみがベースになりますが、市民的にも、子どもや親子支援を行う民間団体が「おかやま親子応援プロジェクト」をたちあげました。様々な体

験や学習支援などを行うプロジェクトです。フード&ライフドライブという子育て家庭に必要な物資を届ける活動も続けられています。岡山市も6月議会補正予算で、このような民間団体と連携した事業にとりくみます。

新型コロナ禍。こうした岡山のよさに磨きをかけ、行政と協働して、人も経済も地域でつながり、循環させていきたいです。

おにき・のぞみ

6月議会 個人質問から

質問項目

- 1 新型コロナウイルス感染症
・学校休校で影響を受けた子どものケアを
- 2 18歳成人
・成人式
・成人を迎える子どもたちへの企画
- 3 岡山北斎場



6月議会では、新型コロナに対応するために、40.6億円（うち、岡山市独自は31.2億円）の補正予算が可決しました。アベノマスクや10万円の定額給付金という必要なときになかなか手元に届かない国の施策ではなく、地方自治体の施策は細やかに迅速に対応できます。コロナ禍に直面し、国と地方自治体の役割分担を行い、地域のことは自分たちで決めるという地方自治の重要性が再認識されたのではないのでしょうか。

1 新型コロナウイルス感染症

学校休校で影響を受けた子どもたちの心と体のケアを充分にするべき

私は大塚愛県議とともに、学校休校中に保護者アンケートを行い、637件の回答を得ました。休校期間はいつまでが適当か、子どもの過ごし方、家庭学習、昼食についてなどです。

Q: 自宅での過ごし方として、「スマホやテレビの時間が長くなっている」59%、「運動不足になっている」52%、「勉強や生活のリズムをつくるのが難しい」35%が多かった。子どもたちの心や体への影響や取り組みについて教えてほしい。今後への調査が必要ではないか。

教育長: 学校では、一人ひとりの様子を観察し、段階を追って指導をしている。児童・生徒への影響が顕著に現れているという学校からの報告はない。新たな調



私たちが行った「臨時休業に関するアンケート」結果を、菅野和良岡山市教育委員会教育長に手渡し、意見交換（2020.5.7）

査を行う予定はありません。

Q: 新潟市教育委員会は、元気そうに見える子どもたちも、少なからずストレスを抱えており、様々な形で今後表出してくるという観点から、コロナに即して具体的に「子どもの心身ケアハンドブック」を教職員向けに出してとりくんでいる。岡山市でも行うべきでは。

教育長: 新潟市のはよくできているが、岡山市でも対応できていると考える。



新潟市のとりくみを参考にしてほしい。障がいを持つ子どもがいる家庭、ひとり親家庭では、特に困っていることがアンケートで浮き彫りになりました。充分なとりくみを。

親子の支援を行うNPO団体等との連携を検討する

Q: 子どもにまつわる市民団体とネットワークを作り、心と体の回復を求める協働のとりくみをしませんか。

子育て支援担当局長: 親子の支援を行うNPO団体等が、オンラインを活用して連携する動きがあるのを聞いている。関係団体の意見を聞きながら検討したい。



ネグレクトなど虐待を身近に心配する声も少なくありませんでした。私に先立っての質問で、通告件数は減っているが、潜在化している可能性はあると。学校・地域ぐるみでSOSのサインを見逃さない取り組みが必要です。

2 18歳成人

成人を迎える子どもたちへの企画について関係団体と話をしたい

Q: 民法改正で2022年度から成人年齢が18歳となるが、岡山市は成人式を、20歳を対象に「20歳の集い（仮称）」として開催することとした。選挙権年齢も18歳となり、成人式は18歳で行うべきでは。**市長:** 社会的に一人前になるのはいつか。受験や就職活動など大切な時期に開催をして問題はないかなどを整理して、20歳での成人式を継続することにした。

Q: 高校生年代の子どもたちが参画して、大人になることを考える企画を持続的に行うべきではないか。

子育て支援担当局長: 成人を迎える年代の子ども達が、大人になることに興味や関心を持つよう、こういった企画が考えられるか、関係団体等と話していきたい。

* 成人年齢引き下げによる変更点など *

18歳成人で変わるもの、できること	18歳成人でも変わらないもの（20歳のまま）
<ul style="list-style-type: none"> ・親の同意がなくても契約ができる（携帯電話購入、部屋を借りる、クレジットカードの作成、ローンを組むなど） ・10年有効パスポートの取得 ・公認会計士や司法書士などの国家資格に基づく職業につく（資格試験合格等必要） ・結婚（女性は16歳から18歳に引き上げ） ・性同一性障がいの人が性別の取扱いの変更審判を受けること 	<ul style="list-style-type: none"> ・お酒 ・たばこ ・公営競技（競馬、競輪、オートレース、モーターボート競走） ・養子を迎える ・大型・中型自動車運転免許の取得



表から18歳が社会的な節目になるのは明らかです。飲酒が節目ではない。

お伝えしたいことアレコレ

岡山芸術創造劇場（仮称）の使用料金

利用者による差をつけない料金制度案でしたが、中劇場については経過措置として減額・免除をすることです。9月議会に設置条例議案が出ます。市民会館・市民文化ホールの代替でもあります。「高くて利用できない」という市民からの働きかけの成果です。

緊急告知ラジオの一般販売

緊急時に自動起動するラジオです。7月初日に予定の400台が完売。一般販売

3 岡山北斎場

6月議会に出された岡山北斎場設置を定める条例改正案には反対

Q: 条例改正案では、指定管理者での管理運営となっている。（これまでの不適正な経過から）岡山市は近隣地域と信頼関係の修復が必要であり、そのためには東山斎場と同様に直営が望ましいのではないかと。**市民生活局長:** 公民連携の推進を定めた公共施設等総合管理計画基本方針などを踏まえ、指定管理者制度を導入することにした。



本体工事で太く長い多くの杭が産業廃棄物層を通り地山に打たれています。広い岡山市。他の場所を探すべきでした。

6月議会補正予算から

新型コロナ対策の岡山市独自予算など



岡山市議会は「新型コロナウイルス感染症対策プロジェクトチーム」を設置して、岡山市に対策を提言しました。

支援策は他にも色々あります。どこに連絡をしていいかわからない場合は、**新型コロナウイルス対策専用ダイヤル（086-803-1400）**をご利用ください。

* 水道の基本料金

1ヶ月分相当を不要で減免。

* 児童扶養手当受給世帯への支援

収入が大きく減少した世帯に国が5万円を給付。これに市が2万円上乗せ。

* 子ども・家庭への個別支援団体へ

困難を増大している家庭への個別支援を実施する団体に最大15万円の支給。

* 住宅確保給付金の支給対象拡大

離職や休職などで住宅を失った人、失う恐れのある人への家賃支給（上限あり）。国の収入要件を、市独自基準で緩和。

* 事業者継続支援金を農林漁業者にも

中小企業20万円、個人事業主10万円の上記支援金を農林漁業者にも拡大。

* 地域公共交通の応援

公共交通機関。昨年4月5月と比較すると、路線バスで5割、路面電車で7割、タクシーで5割減。公共交通維持のために、岡山市独自でも支援。

* 給食調理員にクールジャケットの支給

岡山市内の調理場にはクーラーが入っていません。熱中症対策としてクーラー設置が希望ですが、設置までの間にと、クールジャケットの支給を提案していました。今年本来なら夏休み期間に給食があるので、役立つことを願っています。

